声明書

吾が官業労働総同盟は農民労働党の結社禁止と労働農民党の分裂に経験に鑑み今日直ちに全國的政党組織の計画に参加する事は躊躇せざるを得ない。依って当分の間所属組合はその所在地に於て吾等と主張方針の合致する友誼團体と協力して地方別現實的大衆政党を組織し政治行動に邁進せんとするものである。而しながらその地方に於ける友誼團体との関係上全國的政党に参加せねばならぬ事情の下にある組合に對しては決してこれを拘束するものではない。これを要するに我々は飽くまでも無産階級の現實要求に立脚せる大衆政党を組織せんとするものであって我々と主張を同じうし且つ誠意をもって提携し得る友誼團体の意嚮を充分に聴取し且つ各地方の事情を[illegible]と協力せんことを欲するものである

右声明す

昭和[illegible]年十一月　日

官業労働総同盟第二回中央委員会

尚中央委員会では左の如く総選挙對策を決定した

候補者は左の内より物色する事

第一、我々を直接代表する者

第二、我々と主張を共にする無産階級候補

第三、我々の運動に理解を有する候補

左の各地に於て立候補せしめる事

九州……八幡、戸畑、若松、

大阪……[illegible]、西成、

名古屋……[illegible]知縣[illegible]

東京……第三区

労農党の分裂以後

労働農民党分裂後は安部磯雄氏の独立労働協会及日本労働総同盟を中心とする社会民衆党[illegible]した組合[illegible]同盟を中心とする日本労農党等が出現し無産